相馬村広報

りんごの森

2025 4 No.513

特集　13年ぶりの
豪雪とその対応策を振り返る

JA_SOUMAMURA

職員配置紹介

理事金融共済部長
（信用事業担当専任）
山内　利彦

専務理事
三上　隆基

代表理事組合長
大場　勉

【本所】

金融共済課

三上 詩織
共済・引受け・保全事務

工藤 純輝
共済・事故係・担当LA

佐藤　望
共済・引受け・保全事務・担当LA

工藤 弘美
貯金

清野 晴菜
貯金・ATM・年金友の会

小野 恵子
出納

三上 亜希
貯金主任
貸付・一次査定・農業者年金

鎌田 哲哉
課長
金融共済全般

監査課

工藤 明日香
主任

成田 淳子
課長補佐

農業振興課兼審査課

三上　司
ライスセンター・育苗センター

米澤 博子
女性部・米事務・補助労働力

蒔苗　睦
青年部・支会連

山内 新菜
青申会・貸付審査・二次審査・土壌診断

佐々木 善久
ライスロマンクラブ・わい化研究会・飛馬ふじ

齊藤 大貴
主任
指導・共防連・営農CT・無料職業紹介事業

田中 裕滋
課長補佐
指導全般・米・転作・補助事業・高齢化対策

総務課

堀井 裕子
リスク管理・JA広報・購買

山内　航
管理・労災・職員教育・給与関係

石岡 直幸
課長
総務全般・コンプラ・個人情報・リスク管理

【湯口支所】

湯口ＳＳ

成田　悠詩

三上 浩二

澤田　翔

工藤 玲奈
事務

川口 輝哉

澤田 克也
リーダー

葛西 ひかり
貯金・購買・機械化センター事務・ATM

秋元 凛音
購買事務・貯金

齋藤 奈菜子
主任
出納・貯金・体制整備

蝦名 修一
所長兼購買課長
支所・直売所業務全般

直売所

花田 真弓

工藤 涼大

渡辺 恵美

長見 さくら

平山 華留愛
事務

児玉 広樹
リーダー

農機センター

櫻井 眞緒

大場 茉南

赤石 祐施
主任

【相馬支所】

三上 徹朗
貯金・購買・ガソリンスタンド

仲村 郁奈
貯金・購買

嶋路 玲菜
貯金・購買

津嶋 育美
貯金・出納

三上 裕平
所長
支所業務全般

購　買

福島 直樹
グリーンプラザ

小野 朋宣
購買全般・SS所有者協議会

４月からの職員配置について

今月号では、４月１日からの職員配置及び職務内容を顔写真付きで掲載します。ご活用いただければ幸いです。

※４月１日付けで異動した職員は 強調 、新採用の職員は 強調 しております。

注）異動した職員のうち、同部署内での職務変更のみの場合、強調無しとしております。ご了承下さい。

【販売】

販売

竹谷　立
荷受・事務

葛西 美保子
荷受・事務

田村 慎平

福澤 雷也
事務

山内 結雅

三上 悟行
販売部長

本所フルーツステーション

古山 勇樹

葛西 聡子

三上 美紀

成田 恭平

斎藤 一路

千葉 翔平

葛西 智寿

戸沢　章

奈良 直樹
副センター長

山内 耕平
主任センター長
冷蔵管理

特産販売

鹿内 宜子
特産・
加工事業全般

米澤 松太
主任
特産・
加工事業全般

大場 美津子
課長補佐
特産・
加工事業全般

相馬支所フルーツステーション

小山内 一翔

三浦 進太郎

山内 昭彦

川村　匠

阿部 将仁

山口　剛

小堀 慎司
副センター長

特産販売（加工場）

山田 理圭

西谷 その子

成田 光治

村上 託也

奈良岡 恵美

三上 信幸

三浦　章

佐々木 弘己

三上 康人
主任
特産・加工事業・
加工センター管理

境谷 幸男
工場長
加工事業

特産販売（加工場）

花田 いく子

小野　将

今　俊明
ＪＡバス

堀内 秀幸

中澤 祐政

木村 亜侑美

會津 由美子

石田 裕香

齋藤 美由紀

策を振り返る

今年１月５日の沢田地区　園地全体が雪にすっぽりと覆われた

今年の雪の特徴は「湿った重い雪」

これまでの大雪を振り返る

12月から豪雪に見舞われた津軽地方。県は弘前市など10市町村に災害救助法を適用しました。雪害での同法の適用は13年ぶりのこと。1月、2月も雪の日が例年より多く、弘前市では2月23日午前9時の積雪深が観測史上最高の１６０㌢となりました。

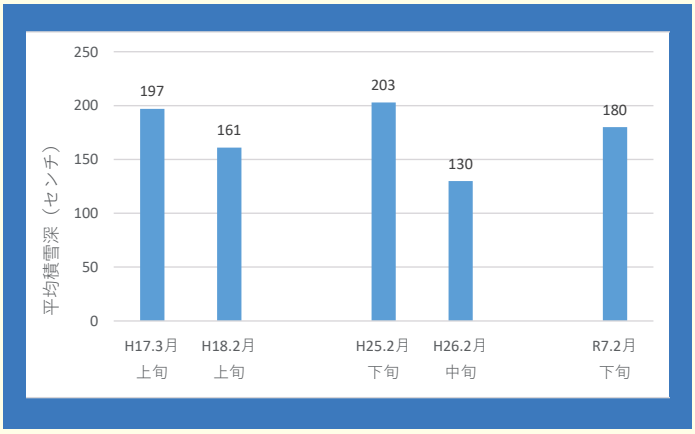
今年の雪の特徴は大量の湿った雪です。今までと同じ体積の雪が降ったとしても、水分が多いため重みが増し、結果、被害を助長することになりました。

当ＪＡ管内の積雪深も2月下旬には多いところで１８０㌢となりました。天候の良い日が続き、雪解けが進むにつれ、リンゴ園では幹折れ・枝折れの被害が徐々に明らかになってきています。また、消雪の遅れによる春作業や生育の遅れも懸念されています。

◆

過去を振り返ってみると約10年に一度、豪雪に見舞われています。前回雪が多かったのは平成25年です。その年の2月下旬の平均積雪深は２０３㌢。翌平成26年2月中旬の平均積雪深は１３０㌢でした。融雪剤を買いに来る生産者からは「ここ十数年は融雪剤を撒いた記憶がない」と耳にします。きっと平成25、26年以来なのかもしれません。平成25年には災害救助法が適用されています。

その前の大雪は平成17、18年でした。平成17年3月上旬の平均積雪深は１９７㌢。平成18年2月上旬の平均積雪深は１６１㌢となっていました。（農業振興課　積雪調査より）過去の事例をみると豪雪の翌年も積雪が多いことから、来年も豪雪被害が心配されます。



雪解けが進み
園地では被害も見えてきた

13年ぶりの

豪雪とその対応

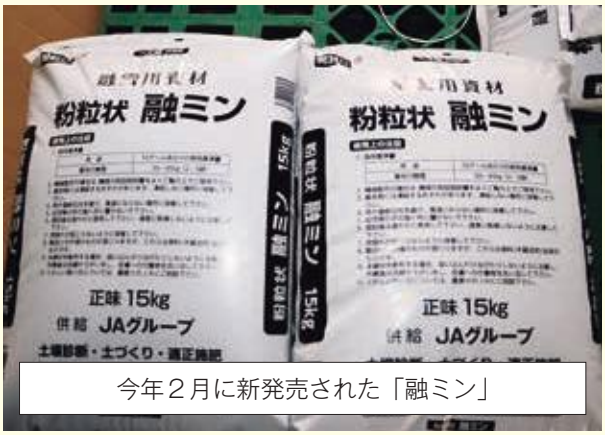
農道除雪を行い、園地へ行く生産者をバックアップ

JAの支援策

JAでは10年以上前から、樹上の雪下ろしや融雪剤散布、剪定作業のために園地へ行く生産者を農道除雪で支援しています。弘前市の「りんご樹雪害対策農道等除雪事業補助金」を活用して幹線農道の除雪を行い、今年度は5回出動しました（3月末現在）。昨年と一昨年も4回出動しており、生産者が園地へ行ける体制を整えてきました。

また1月上旬には緊急豪雪対策として融雪剤の購入助成をおこないました。通常価格の200円引きで「菌源炭」の予約注文を行い、1,854袋を供給しました。次いで粒状の融雪促進剤「融ミン」も1,047袋販売しました。「融ミン」は今年できた融雪促進剤で、粉粒状のため飛散が少なく撒きやすいことが特長です。無人ヘリやドローンでの散布にも適しています。粒は灰色ですが水分に触れると黒くなり、雪の中に沈んでザラメ状に溶かします。ザラメ状になることで雪に埋もれた枝の周りに空間ができ、雪解けによる沈降圧から枝折れ被害を軽減することができます。

資材の種類や散布のタイミングで違いが出ますが、おおよそ1週間から10日程度消雪を早めることができ、園地の乾燥を促進することができます。



今年２月に新発売された「融ミン」

弘前市の支援策

弘前市ではリンゴ園地等において使用する融雪剤・塗布剤の購入費の助成事業を実施しました。補助率及び交付額は融雪剤の場合、対象経費の1／3以内（上限額：480円／10a）、塗布剤の場合は対象経費の1／3以内（上限額：540円／10a）となっています。

対象品を当JAから購入した組合員の申請はJAが一括して行うため、個人での申請は不要です。

県の支援策

県では令和6年度りんご雪害軽減対策事業として、融雪促進剤を空中散布する際の経費を補助する事業を新設しました。事前に「農地ナビ」の図面を提出することや、園地入り口に駐車スペースが必要、融雪剤は生産者側で粒状のものを用意する、散布時は現地立合が必要などの留意事項がありますが、この事業を活用すると10アール当たりの請負経費を1750円程度に抑えることができます。県の試算では散布事業者に委託する際の標準請負経費は4400円なので散布費用は半額以下となります。2月4日から3月21日の期間で申込みがおこなわれ、当JA管内の申し込み人数は16名、27.5ヘクタールでした。行政や当JAによる農道除雪もあり、3月7日には申込者全員の散布が完了しています。

無人ヘリで融雪剤を散布した園地。融雪が進み剪定もはかどっている

融雪剤の手散布は重労働。15キロ袋を持ち雪の上を歩く

これからも雪ニモマケズ

今年のような豪雪では、幹線農道から園地まで徒歩で移動するのも困難な状況でした。JAではこれからの雪にも備えるため、2月には小型ロータリー除雪車を急遽購入しました。幹線農道から伸びる枝線の除雪も行い、生産者が作業しやすい環境づくりを進めていきます。

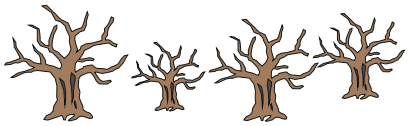
JAはこれからも、県や弘前市と一丸となって生産者の皆さんをバックアップしてまいります。厳しい気象条件にも負けず、豪雪にも負けない、強い産地を作っていきましょう。

雪に埋もれた枝を1本ずつ慎重に掘り上げる

JA相馬村はこれからも
県や市と一丸となって
生産者を応援してまいります

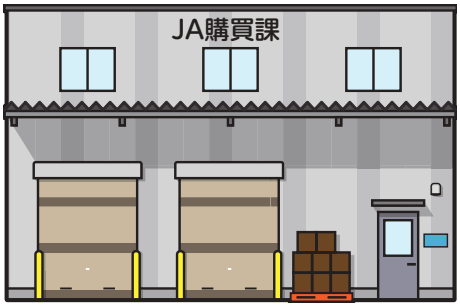
県の支援策

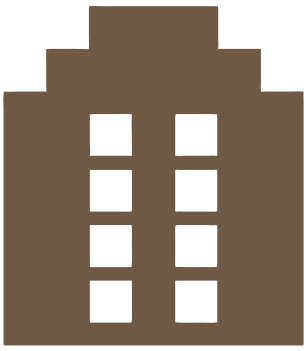
・無人ヘリやドローンによる融雪促進剤の散布経費助成



ＪＡの支援策

・農道除雪
・融雪剤の経費助成





市の支援策

・融雪剤や塗布剤の購入費助成
・農道除雪費用の補助

融雪促進剤　空中散布

2月25日、県が行う「令和6年度りんご雪害軽減事業」を利用した、無人ヘリによる融雪促進剤の空中散布が行われました。

湯口地区の山内清和さんは3ヵ所の園地1ヘクタールの散布を申し込みました。「融雪剤はここ10年くらい散布していない。春作業が遅れないよう、こういった良い事業を活用しない手はない」と話していました。融雪剤を散布すると、散布しない場合に比べて10日程度融雪が早まります。

同事業のJAへの申込者数は16名、3月7日には全園地の散布が終了しました。

3月下旬の平均積雪量はは63センチ

QOL健診で健康意識向上

3月7日、女性部が「QOL健診」を開催し、部員ら22名が参加しました。QOL健診は弘前大学で開発された健診・健康教育プログラムです。

運動機能や体組成、野菜摂取量などの測定からスタートし、約2時間後には結果を基に健康教育を受けました。健康教育講義も行われ、生活習慣病予防への食事方法などを学び、健康意識を高めました。

参加した部員からは「相馬地区で健診を受けることができて助かる」や「骨密度が平均より高くて嬉しかった」などの声が聞かれました。

今年で2回目のQOL健診

わい化研究会総会開催

相馬村わい化栽培技術研究会は3月12日、第42回通常総会を開催しました。

会員27名が出席し、令和7年度事業計画（案）及び収支予算（案）など全議案を可決しました。開催に当たり柴田康平会長は、年末からの豪雪被害に言及し「このような状況下でも収量の確保と高品質安定生産を目指しましょう」と挨拶を述べました。

わい化栽培研究会では、夕方青空教室、夏期視察研修、剪定セミナーなどの研修会を開催し、会員の技術向上と情報共有を図っていきます。

高品質安定生産を目指しましょうと力強い挨拶

6年産最後のジュース交換

3月15日、6年産リンゴの最後のジュース交換が加工所で行われ、たくさんの組合員が利用しました。朝早くから、自家用コンテナや木箱に入れたリンゴを持ち込む生産者のトラックが列を作っていました。

毎年この最後のジュース交換に来ているという三上均さんは、「親戚などへ送るためにリンゴを取っておいていた。缶ジュースやペットボトルが喜ばれるし、発送もしやすい」と話しました。

今回のジュース交換には52人の組合員が利用し、200箱以上のリンゴが集まりました。

缶ジュースやペットボトルが人気

直売所　感謝祭

３月20日から23日の４日間直売所において、「感謝祭」が行われました。

期間中はお買い上げ金額の５％が割引きになるとあって、買い物客は次々に当ＪＡのＣＡ貯蔵リンゴや切り花などをかごに入れていました。その他にも先着１００名様に卵と牛乳をセットでプレゼントする企画や、青天の霹靂や野菜詰め合わせがその場で当たるくじ引き抽選会も行われました。

お客様からは「物価が高いので少しでも安いと嬉しい」や「米が欲しかったがはずれて残念」などの声が聞かれ、終始賑わっていました。

うれしい企画がもりだくさん

りんご学習贈呈式

３月24日、相馬小学校において令和６年度「農業ふれあい教室」作文・かべ新聞コンクールの表彰式が行われました。

相馬小学校３年生17名が、リンゴ学習についての感想を作文やかべ新聞にまとめ、青森県ＪＡ女性組織協議会主催の「農業ふれあい教室」に応募しました。

田澤真由美女性部長から、作文コンクール最優秀賞の三浦琉生さんへ、賞状とトロフィー、副賞の青天の霹靂５キロが送られ、児童たちは大きな拍手を送っていました。

リンゴ学習よくがんばりました

果樹ＰＴ会議開催

３月27日、果樹産地強化プロジェクトチーム会議を開催しました。メンバーの生産者10名、三上販売部長、農業振興課３名が出席し、令和７年産から取扱いを始める「葉とらず有袋ふじ」について話し合いました。

取扱い要領や推奨する栽培方法、上実・くず実などの区分による出荷選果基準、着色や葉形によるＪＡでの選果基準など細部まで検討を行いました。

果樹ＰＴでは、今後も組合員の所得向上を目指していくことを確認しました。

着色や葉形の基準を話し合うメンバー

共防連総会開催

４月１日、相馬村農協共防連の通常総会が相馬ふれあい館で開催され、各共防と来賓合わせて50名が出席しました。

三上由紀夫会長より挨拶で「昨年は雪解けが早く４／18より防除が開始され、コンフューザーＲの設置も約９割まで行われたことで、高品質となった」と話していました。

その後、立木品評会の審査結果が発表され、団体の部では五所共防が金賞、個人の部では有袋ふじと農協長賞を大場俊一さんが受賞しました。今回の総会では、役員改選もあり、次期会長に成田陽平さんが選出されました。

団体の部　五所共防２連覇達成!!

生産情報

農業振興課主任　齊藤　大貴

○消雪が遅い反面、生育は前進

今冬の管内平均積雪量は平年より多く、最も多かった2月下旬の平均積雪量は160㎝でした。また、積雪量が多かったため本年の消雪は早い地点で前年より2週間程遅い4月5日となりました。

当JA管内における「ふじ」の発芽日は、早い地点で昨年よりも2日遅い4月7日となりました。1回目の**「展葉一週間後頃」における薬剤散布は生育が早い地点で4月23～24日頃と見込まれます。（4月8日現在）**なお、気温が高く推移した場合や、降雨がある場合は更に早まることが予想されます。開花については、今後の気温が平年並みに推移した場合、黒石のりんご研究所で5月6日頃と予想されています。（ふじ）

（注）消雪が遅く地盤が緩んでいる場合、SSでの薬剤散布は非常に危険です。安全を第一に考え、1回目の薬剤散布が困難な場合は農作業事故防止の観点から中止し、「開花直前」における薬剤散布から本年の防除を開始して下さい。

○凍霜害に注意！

降霜は一般的に晴天無風で、午後7時の気温が6度以下の日の翌朝に発生する危険性が高いことから、気象情報等に十分注意し、防霜ファンを設置している園地では機器の始動点検を行って下さい。防霜ファンを設置していない園地では霜害防止対策資材の準備を行い、被害の軽減に努めて下さい。

○結実量確保に向けて

近年、開花期間中における気象条件の変化によりカラマツが発生しています。マメコバチも減少傾向にあるため、積極的に人工授粉を行いましょう。

○農薬散布にあたっての注意事項

■散布は降雨前に実施

■散布間隔は10日以内を守る（6月中旬まで：黒星病重点防除時期）

■適期・適量散布を徹底する

■農作業事故には十分注意する

●りんご病害虫防除暦（第５回目まで）

散布計画	散布量	散布時期	基準薬剤	希釈倍数	備　　考
1	300ﾘｯﾄﾙ	展葉１週間後頃	ベフラン（液） バリアード（顆水） ハーベストオイル	1,000倍 4,000倍 200倍	●混用順序 ①水→②ハーベストオイル→③バリアード（顆水）→④ベフラン（液）
2	320ﾘｯﾄﾙ	開花直前	パレード（Ｆ） 又はカナメ（Ｆ） アタブロンＳＣ	2,000倍 4,000倍 4,000倍	●昨年、褐斑病が多発した園地ではパレード15（Ｆ）を選択する。
3	350ﾘｯﾄﾙ	落花直後	ミギワ20（Ｆ） ジマンダイセン（水） アタブロンＳＣ 果面保護剤	4,000倍 600倍 4,000倍	●リンゴハダニの発生が見られる場合は、バロック（Ｆ）を加用する（豪雪の影響により展葉一週間後頃の薬剤散布が実施できず、ハーベストオイル200倍の散布がされていない場合も含む）。
５月中旬　コンフューザーＲの設置（100本／10ａ）					●コンフューザーＲを５月下旬までに設置し、ハマキムシ類及びシンクイムシ類における次世代の密度低下に努める。
4	350ﾘｯﾄﾙ	落花10日後	デラン（Ｆ） エルサン（水） 果面保護剤	1,500倍 1,000倍	●デラン（Ｆ）とユニックス（顆水）の混用は避ける。
5	420ﾘｯﾄﾙ	落花20日後	ジマンダイセン（水） サイアノックス（水） 果面保護剤	600倍 1,000倍	

※赤字表記は本年の防除暦に新しく採用された薬剤。

果実販売動向

販売課　田村　慎平

平素からＪＡ相馬村フルーツステーションをご利用いただき誠にありがとうございます。３月の果実販売動向をお伝えします。

イチゴにつきましては九州・中部・関東などの各産地において潤沢な出荷となりました。企画も多く組まれ、売り場も広く確保されて３月の果実売り場の中心はイチゴという状況となりました。ただし、入荷量に対して末端の消費が追いついておらず、流通在庫が増加することとなり、売価を下げての販売となるとともに市場での価格も下げ基調での販売となりました。

中・晩かん類につきましては前月から引き続き総体量の少ない状況が続きましたが、売価高もあり大玉を中心に苦しい販売が続き、価格は下げ基調での販売となりました。また、月の後半にかけて消費地の気温上昇などにより品質低下も顕著になり、価格の下げ幅が拡大していくことになりました。

リンゴにつきましては、売り場がイチゴ中心となっていたためリンゴの売り場は縮小傾向となり、荷動きは緩慢な状況となりました。

ＪＡ系統のリンゴは３月にはすべてＣＡ品に切り替わり、業者関係に関しても徐々に切り替わりが進みましたが、市場では普通冷蔵品の在庫が残っており、普通冷蔵品に関しては品質懸念、ＣＡ品に関しては普通冷との価格差を主な要因としてどちらも厳しい販売が続いております。

今後イチゴに関しては４月に入ると入荷量のピークは過ぎ、総体量は減少していきますが、品質懸念が強まっていきます。そのため３月の広い売り場を確保しつつ、回転率を重視しての販売になる見通しで価格はおおむね保合いでの推移となる見込みです。

中・晩かん類に関しては、市場価格の低下から売価も値下げが進む動きがみられ、こちらも品質懸念の高まりもあり、価格は下げ基調が進みますが、荷動きは回復する見通しです。

リンゴに関しては、末端では限定的な売り場展開が４月も続く見通しの中、企画の中心となる36玉については、継続的な引き合いが見込まれます。ただし一時的に入荷量が減少していたサンふじが増加する見通しであることと、安価な転送品が多く出回っていることもあり、３月も引き続き流通在庫が多い中での販売となります。そのため荷動きの鈍い状況は続き、価格は下げ基調での展開が予想されます。

本年は、年明けから厳しい販売が続き、基本的には高値傾向ではあるもののこれにきて徐々に下げ基調での展開が続いております。これからスマートフレッシュ・ＣＡ貯蔵品の販売が中心となっていきますが、例年より長い期間在庫を抱えての販売となる可能性があるため、例年以上に品質管理には注意しつつ有利販売に努めてまいります。

全農あおもりデータ（３／31累計）

品　種	サンつがる	早生ふじ	トキ	きおう	王林	シナノゴールド	サンジョナ	サンふじ	その他	合計
単　価（円）	2,975	4,196	3,459	3,240	4,234	4,356	4,431	4,607	4,263	4,150
前年比（%）	90	96	94	104	104	110	105	119	105	108
販売数量（箱）	738,116	495,063	201,444	116,370	402,837	47,891	274,958	2,812,623	689,905	5,789,313
前年比（%）	120	94	113	76	96	96	125	88	89	97

※10kgダンボール１箱当たりの数値となります

直売所「林檎の森」

リーダー　児玉 広樹

いつも特産物直売センター「林檎の森」をご利用いただきありがとうございます。

3月20日～23日の4日間開催した「林檎の森感謝祭」では、毎年恒例の1000円以上お買い上げの方に卵と牛乳の先着プレゼントや、「一部商品の5%OFF」と500円以上お買い上げで「くじ引き」を実施致しました。「青天の霹靂5キロ」「野菜セット」「シェーク・ソフト無料券」「リンゴジュース1本」が当たるくじ引きに、小さなお子様も楽しんでくれていました。5%OFFとお彼岸が重なったため、花や団子、野菜などが完売するほど大盛況となりました。

また、今年もマイタケ菌を3月25日から販売しております。3000個仕入れましたが販売開始約1週間で残りわずかとなりました。年々リピーターの方や予約のお客様が増えており、林檎の森の人気商品となっております。

4月26日から5月6日までの期間は人気イベントの『花と緑の市』を開催します。ナスやキュウリ、トマトなどの野菜苗やマリーゴールドやペチュニアの花など色とりどりの商品が会場を飾ります。この機会にガーデニングや家庭菜園を始めてみてはいかがでしょうか。

4月1日からスタッフの顔ぶれが変わりました。不慣れな点もありますが、スタッフ一同協力して頑張って行きますので暖かい目で見守って頂けたら幸いです。

今後もお客様に満足していただける店づくりをし、皆様のご来店を心よりお待ちしております。

卵と牛乳のプレゼントにみんなにっこり

湯口SS

所員　澤田 翔

いつも当SSをご利用いただき誠にありがとうございます。組合員の皆様には、ガソリン販売記録のご記入にご協力いただきありがとうございます。

タイヤ交換受付中！

夏タイヤへの交換はお済でしょうか？　これからの方はぜひ湯口スタンドにお任せ下さい！　1本550円から承っております。

9時から16時までの受付で、来店順に対応させていただきます。

夏用ワイパー入荷しました

雨の日の安全運転のために定期的に交換することをおすすめします。拭きにムラが出たり、水がにじんで残ってしまう場合は交換時期です。サイズ選びや交換もおまかせください。

スタンドからのお願い

お手数ですが、ゴミは事務所前のゴミ箱に捨ててくださるようにお願いします。洗車機横のタオル置き場にはゴミ箱を設置しておりません。ご協力をお願いいたします。

ゴミはゴミ箱へ

青年部通信

事務局　蒔苗　陸

次期参議院選挙で、自民党の全国比例代表推薦候補者に決まっている東野ひでき氏が来協し、青年部員や女性部員、ＪＡ職員の前で選挙にかける意気込みを語りました。

東野氏は、北海道名寄市出身の稲作農家で、ＪＡの一員として青年部長やＪＡ組合長などを歴任されてきました。これまでの経験を生かし、北海道・東北地方の農業の厳しい現状や、若い世代が希望を持って農業という職業を選べるような環境作りなどの課題について、中央へ伝えていきたいと訴えました。

参加した青年部員からは、リンゴ高値維持や、人手不足、近年の異常気象に対する不安などの声を伝えることができました。東野氏は農業者・ＪＡのために全力で働きますと力強く語りました。

いきいき女性部通信

事務局　石田　有希子

3月7日、女性部では弘前市りんご課主催のＱＯＬ健診を行い、22人が参加しました。今回の開催は2年目なので、地域のみなさまにも参加を募り部員以外の方も数多く参加してくださいました。

ＱＯＬとは、Quality Of Lifeの略で『自分らしく幸せに生活する人生の質』のことを意味します。その健診は、骨密度や握力、内臓脂肪や運動機能チェックが検査項目に入っていることが大きな特徴です。充実した生活を送るには運動機能や生活習慣病予防、また歯周病の予防が欠かせません。

結果がすぐわかるのも、この健診の良いところです。毎年受診すると経過を把握することができますので、またぜひ来年もご参加してみてはいかがでしょうか。（ちなみに私は唾液検査で即歯医者に行くことになり、虫歯が判明してすぐ治療することができました笑）

また26日には年度初めの理事会を開催し、新役員のみなさま、新事務局とともに今年度の活動について話し合いました。女性部では今年度も食と農を通じた社会貢献ができるよう、女性らしく自分らしく、楽しく活動していきたいと考えております♪

〈ご挨拶〉

3年間事務局を務めさせていただきました。部長をはじめ、役員の方々にたくさん助けていただきました！　笑い声の絶えないみなさんと一緒に活動が出来た3年間、とても楽しい時間でした。心から感謝しています。本当にありがとうございました。

自分の健康状態を知ることが健康への第一歩

地域おこし協力隊 活動記 Vol.110

観測史上最深の積雪を記録した今年の冬。畑などにはまだ雪原が残っていますが、少しずつながら春の足音が聞こえてきました。白い雪をかき分けて黄色いフクジュソウが顔を出しているところもあります。わたし（加賀）の家のまわりにも、鳥たちが集まってくるようになりました。

と書いているのは3月の末で、本誌が出るころにはもう桜も開花し、もしかしたら汗ばむような陽気になる日もあったりするかもしれません。

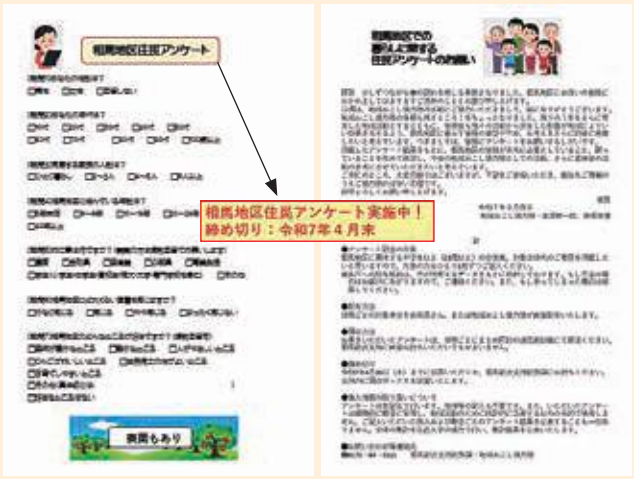
地球の長い歴史から見れば、気候は幾度となく大変動してきましたが、昨今の極端な気象はじつに厄介です。大雪が降ったかと思えば山火事が頻発したり、外出が危険なほど暑い日が続いたり……。

気候の変動は、岩木山の雪形を見ても感じられます。去年今年と、名物だったヤギや青森県の形をした雪形を拝めませんでした。公式の標高が1m下がったとはいえ岩木山が山崩れを起こした形跡はありませんので、やはり雪の降り方が変わってしまったのでしょう。昔は雪形を見て田起こしや田植えの時期を判断した時代もあったそうですから、雪形が変わるのは大変なことだったに違いありません。

環境の変化によって暮らし方を変えるのは、いつの時代も人々にとってつねに大きなテーマなはずです。相馬地区も相馬村時代に比べると環境がだいぶ変わってきたことと思います。少子高齢化は全国的な問題で抗い難き潮流なのかもしれません。一方で、相馬にはそれこそ数千年前の縄文時代から積み重ねてきた歴史と文化があります。移り行く時代の中で、何を残し何を変えていくか、いまを生きる相馬の人々が本当に何を望み、何に困っているか、どういう相馬地区でありたいのか――いま、あらためてきちんと把握する必要があるのではないでしょうか。視察や資料などで見た他府県のいわゆる限界集落に比べれば、相馬はまだ高齢者率も低く、地域資源も豊富、何より地域に対する想いも熱いように思います。まだまだよりよくするための余地は十分にあるはずです。

ということで、このたび中学生以上の全住民を対象にしたアンケートを実施しました。相馬の人々が何を求めているか、何を想っているか、どんな地域にしていきたいのか、率直なところを浮き彫りにして、今後の活動に生かしていきたいと考えています。皆様におかれましては、ご多忙のことと存じますが、どうかご協力のほどよろしくお願いいたします。

2023年春に撮影した岩木山。やや左寄りの雪形が名物のヤギ。雪が少なかった24年は見られず。今年は？



相馬地区の皆様にお配りしたアンケート用紙

（＊）相馬地区公式HP（http://www.city.hirosaki.aomori.jp/soma/）

JA 相馬村概況

〈令和７年３月末日現在〉

組合員数…………………………… 833 人
（うち准組合員数 …………… 381 人）
出　資　金…………………599,465 千円
貯　金　額…………… 10,542,704 千円
共済保有高………………2,867,718 万円

理事会だより

３月21日（金）

1）県常例検査の結果報告について
2）２月末残高試算表について
3）組合員の脱退について
4）保有個人データ等の開示等に関する手続規程及び個人情報保護法等に基づく公表事項等の一部変更について
5）就業規則の一部変更について
6）ＪＡ自然災害損害調査員設置要領の改正依頼について
7）ローン融資要項およびローン商品概要説明書の一部変更について
8）貸付関係について
9）りんご販売関係について
10）花粉交配機（ラブタッチ）の助成について
11）固定資産の取得について

編集部のつぶやき～編集後記～

異動になってしまいました！　短い間でしたが、私の拙い文章や写真にお付き合いいただきありがとうございました。うちの組合員さんはみんないい人ばっかり。と農協に入った頃に感じたことを改めて感じた1年でもありました。親切にしてくださり本当にありがとうございました。農家さんの大変さを知ることができたこの一年を忘れずに、今後もＪＡ職員としてがんばっていきますのでこれからもよろしくお願いします。。後任のU子にも優しくしてくださいね

Ｊ子

PS　もふもこに自分の犬を載せちゃいました💦　最後は絶対うちのぺろみを載せたいと1年前から決めてたんです(^-^;

＊　＊　＊

異動で湯口支所から広報担当になりました堀井裕子です。

あまり外に出て歩くタイプじゃない私に白羽の矢が当たりました。

農協には長く居るので顔は見たことあるかも…なんて方もいるのではないかと思います。

農業については新人ですが、皆さんの所にお邪魔しながらいろいろ学んでいきたいです。

カメラを持つ手が震えてしまったり、とんちんかんな事を聞いたりしてもなんとかご勘弁ください m(_ _)m　これからよろしくお願いします。

★今月の表紙は福寿草です。旧相馬村の花、福寿草を見て春の訪れを感じました。

今月のあなたの運勢・5月

《モナ・カサンドラ》

◆ 全体運　● 健康運　★ 幸運の食べ物

牡羊座　3/21～4/19
◆ 良好運です。分かりにくかったことがはっきりし予定を立てやすくなります。旅行やレジャーなど外出を増やして
● 活動的なほど調子がアップ。スポーツにツキ
★ 梅

牡牛座　4/20～5/20
◆ 活気はありますが面倒な問題も表面化しがち。逃げずに向き合っていきましょう。ポジティブ思考が運を開く鍵
● 室内でのけがに注意。危ない箇所は早めに対処
★ キクラゲ

双子座　5/21～6/21
◆ 上昇運。下旬をめどに計画を進めましょう。いい形でまとまるはず。友人や知人との外出はうれしい出来事の予感
● チームで行うスポーツやダンスにツキあり
★ 新ジャガイモ

蟹座　6/22～7/22
◆ 後回しにしていたことを片付ける準備を。防災用品も確認。いざというときのための行動が好結果に結び付きます
● 食事はバランス良く。旬の野菜を多めに取って
★ フキ

獅子座　7/23～8/22
◆ 耳寄りな話が入ってきます。ただ予定は詰まり気味でかなり忙しそう。効率良く動いて遊びに行く時間づくりを
● パワフルで頑張りが利きます。睡眠が大事
★ タケノコ

乙女座　8/23～9/22
◆ 活気のある好調運。目標を立ててまい進すれば結果を出せます。語学の勉強や情報収集にも幸運が。旅行も吉
● 早寝早起きで。生活のリズムを大切に
★ ソラマメ

天秤座　9/23～10/23
◆ 頼まれ事から行うと◎。会話を大切に。触れ合いの時間が幸せをもたらします。リサイクル、リメークにツキ
● 血行を良くしましょう。ふくらはぎをもんで
★ ナガイモ

蠍座　10/24～11/22
◆ 対人運が活発化。うれしいことがある一方で面倒事も舞い込みそう。カッカすると落とし穴が。冷静に対処すれば◎
● カルシウムをしっかり取って。骨を丈夫に
★ ニンニク

射手座　11/23～12/21
◆ 周囲が次第に騒がしくなってきそう。前半は時間が取れるので用事は早めに済ませて。後半は人との時間を大切に
● ダンスやストレッチで気持ち良く体を動かして
★ ルッコラ

山羊座　12/22～1/19
◆ 運勢は好調。助けてくれる人が現れて困り事は解決へ。あなたから手を貸してあげるのも◎。レジャーにツキ
● 古傷のケアを。サポーターを使うのもお勧め
★ サンショウ

水瓶座　1/20～2/18
◆ 運気は後半に入り好転。難しくても本気で向き合えば活路を見いだせます。ピンチのときこそクールに判断して
● シェイプアップの好機。無茶をせず計画的に
★ ニラ

魚座　2/19～3/20
◆ 良好なスタートですが、下旬はペースダウン。早めにできることは前倒しで。友人や知人と過ごす時間にツキあり
● 日頃の体調管理が大切。健診、検査を受けて
★ コゴミ

MOFU MOCO

わが家のもふもこちゃん

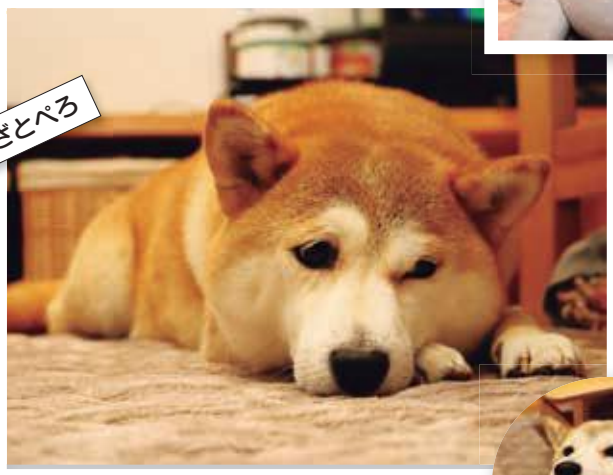
MOFU MOCO

ウチのぺろみ見てください!!
吠えることを忘れたおっとりさん。
ちっちゃいおめめも長いまつげも、
あくびの声も全部かわいい。
わが家の宝物です♥

うさぎ狩りぺろ

ねぺろ１

まるぺろ



あざとぺろ

ねぺろ２
（足にあごのせ）

散歩はあまり
好きじゃないの

あごぺろ

おやつドロボー

飼い主は
私です！
By J子

ハートのぺろ

相馬地区のペットちゃんを紹介する癒しのコーナー！に小比内（さんびない）から初参戦！
７歳なのに赤ちゃんのようなかわいさ。
かわいくてかわいくてしかたない。親ばかですみません。最後だからゆるして。

JA相馬村広報 りんごの森
2025.4 Vol.513

■発行者　相馬村農業協同組合
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497

■編　集　総務課広報
ホームページURL http://www.ja-souma.or.jp/
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp

■発行日　2025年４月15日

本所	0172−84−3215㈹
本所フルーツステーション	0172−84−3293㈹
本所フルーツステーション特産販売	0172−84−3218㈹
ＪＡ共済事故受付センター	0120−258931
湯口支所・機械化センター	0172−84−2470㈹
湯口セルフスタンド	0172−84−2550㈹
直売所「林檎の森」	0172−84−3411㈹
津軽ＬＰガス保安センター	0172−36−0404㈹
ライスセンター	0172−84−2217㈹
りんご加工センターＡ棟	0172−84−3380㈹
相馬支所・フルーツステーション	0172−84−2534㈹
ＪＡ津軽葬祭センター	0120−7676−60